



## 静岡県防衛協会が迫撃砲の訓練を研修

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、12月17日（日）、東富士演習場（裾野市）で行われた静岡県防衛協会の「81ミリ迫撃砲射撃研修」を支援した。

この研修は、同協会が自衛隊に関する理解促進及び防衛に関する知識の向上を目的として年数回実施しているもので、今回は新規会員を中心に31人の会員が参加した。

当日は板妻駐屯地（御殿場市）の第34普通科連隊が実施する「81ミリ迫撃砲実射訓練」を見学し、実射前には、同迫撃砲を間近で見ながら連隊長・山之内竜二一等陸佐から直接迫撃砲の概要や使用方法、射撃の際の実相などについて説明を受けた。

訓練では、4人一組で迅速かつ統制された行動で発射する様子や短時間で射撃準備から撤収まで行う様子を見学し、参加者は「迫撃砲を撃つまでの準備と、撃つ後の撤収が迅速で驚いた」「なかなか見られない訓練を見学でき、現場で地道に訓練を積み重ねている隊員に敬意を持つとともに自衛隊の任務の重要性を改めて認識した」と感想を話していた。

静岡地本は、今後も関係団体と積極的に交流し、自衛隊に対する認識と理解の向上に努め、更には募集基盤の拡充と志願者の獲得に努めていく。



迫撃砲について隊員から詳細な説明を受ける防衛協会会員

## 静岡地本部長が自衛隊の名物ラジオに出演

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、1月3日（水）、エフエムしみずのラジオ番組「自衛T・I・M・E・S★静岡」に出演した。

この番組は、自衛隊の採用情報やイベント情報、現役自衛隊員の出演による生の声を通して自衛隊に対する親しみや理解を深めてもらうべく、毎週水曜日午前10時から10分間放送しており、今年で11年目を迎える長寿番組。

出演した定免本部長は新年の挨拶の後、昨年を振り返って世の中の出来事や国際情勢の目まぐるしい変化にも言及したほか、自衛官募集に関しては現状への切実な想いを丁寧にわかりやすくリスナーへと語りかけた。

また、パーソナリティから趣味について聞かれ、車で県内をドライブする話題に移ると思わず笑顔が零れるなど、番組収録は終始和やかな雰囲気の中で行われた。

定免本部長は「長年多くの方々に支えてもらいこの番組を続けてこられたことに感謝している。これからも放送を通じて我々の活動への理解を深めてもらい、少しでも多くの熱意ある若者が自衛隊を目指すきっかけになれば」と語った。

静岡地本は、今後も新聞やラジオといった多くの方々に声を届けることができる各種のマスメディア媒体を積極的に活用し、自衛隊への理解を深めより多くの若者が志高く自衛隊に飛び込んでくれることを期待している。



パーソナリティの三輪祐子さんと和やかに収録を進める本部長